



街中に、 花と緑で 潤いを

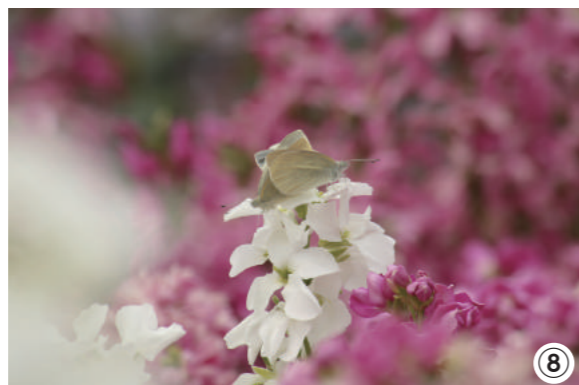
通勤・通学や散歩、買い物の時など、普段の生活の中で見かける街中の花壇やプランター。何気なく通り過ぎる風景も、多くの花と緑によって彩りが加えられています。

ただ、その花も緑も自然に芽吹き咲いているのではなく、多くの人々たちによって日々、大切に育てられているものです。

山や丘がなく、自然の緑が少ない摂津市では、公園や緑地、住宅地といった限られた空間を有効に活用して「街の緑」をつくり出し、増やしていくことを目指しています。地域の人々の取り組みと、市の緑化事業を紹介します。

- ① 阪急摂津市駅前
- ② 市場池オアシス広場
- ③ 大正川平和公園側斜面
- ④ 別府公園
- ⑤ 正雀ちびっこ交通公園
- ⑥ モノレール南摂津駅前
- ⑦ 第二中学校前

- ① パンジー
- ② ナノハナ
- ③ チューリップ
- ④ リナリア
- ⑤ デージー
- ⑥ ノースポール
- ⑦ アジサイ
- ⑧ ストック



地域の力で 花いっぱい



駅前や歩道、公園などの花壇・プランターの多くは、自治会やボランティアグループなどの地域の皆さんによって、管理・運営されています。花壇などが美しく保たれることで、景観が良くなり、ごみも減るなど街の美化につながります。また、緑化活動を通して地域の人たちの交流が深まり、住民の地元への愛着も育まれます。

市の養成教室
卒業生も活躍

鶴野苗圃で開催されている「花と木の実践養成教室（10ページに掲載）」の卒業生によるグループも、市内各所で活躍しています。

地域で39団体が 花いっぱい活動

自治会やボランティアグループは、道行く人たちに草花を楽しんでもらえるよう、地域に設置されている各花壇やプランターなどの植え替えや水やり、雑草引きなどの世

話をしています。これからの季節では、市場池オアシス広場のアジサイ（6月中旬）や、各花壇のヒマワリ、サルビア、ハゲイトウ（6月〜8月）などが楽しめます。

市が草花の種や苗、球根、堆肥、土などを支給する「花いっぱい活動への助成」を受け

緑化の輪を広げる 苗圃活動

「苗圃（ひょうほ）」は、花の苗を種から育てる施設です。市の緑化活動は、苗圃を拠点として進めており、市内では珍しい取り組みです。花苗の供給基地となる苗圃を地域に設置していくことで、市民による緑化活動を広

げ、公園や広場を利用者自らで、より親しめる場に変えていくきっかけをつくります。また、苗圃では、緑化に関わる人材育成も行っています。

市内には全地域の苗圃活動の拠点である鶴野苗圃のほか、別府、東別府、東一津屋、鳥飼八防の4カ所の苗圃があります。その他、花いっぱい



▲別府公園での苗圃活動（種まき）

活動の中でも苗圃活動が行われています。

同教室では、1年間、種まきから花苗の育て方、花壇の管理方法、草花についての知識などを学びます。現在4つのグループが駅前ロータリーや交差点、市役所庁舎前などの花壇の管理を行っています。

現場の「思い」を聞きました

別府公園はなの会



安岡 増夫さん

空地に苗圃を

別府公園に苗圃をつくって、花を種から苗まで育て、花壇に花を植え始めたのは、今から3年前になります。きっかけは、公園内の空地を緑化し、苗圃や花壇を管理してくれる自治会を市が探していたことです。私が所属する南別府団地自治会と、新別府自治会が、地域に花を増やしたいとの思いから手を挙げ、「別府公園はなの会」を結成し、苗圃づくりをスタートしました。

根気の連続

花を育てることは、根気の連続です。特に種から苗が育つまでは、毎日水やりをする必要があります。大雨や風が強い日には、苗が傷まないように見守りに行きま



▲別府公園での花の植え替え

思いも経験しました。毎年6月と10月は、花壇の花の植え替えの時期です。花壇に植える花のレイアウトは、みんなで意見を合せて決めていきます。ひまわりなどの背が高く延びる花は中央に、その周りに色の綺麗な花を散りばめるのがコツです。

声かけが励みに

種から育てた苗が、奇麗に花を咲かせた時の喜びは格別です。子どもの成長を喜ぶ親の気持ちに似ています。そして、一番の励みは、公園を訪れた人の「綺麗な花ですね」「心が癒されます」といった声かけです。たくさんの方が見てくれるのが喜びなのです。花を好きになってくれる人を一人でも多く増やすことが私の願いです。

市場OB会



村山 為昭さん

10年前は雑草だらけ

市場池オアシス広場の園路横で、2月にはスイセン、4月にはサクラソウ、6月にはアジサイと四季折々の花を育てています。しかし、今から10年前は雑草だらけでした。万博記念公園へハイキングに行った際、奇麗に整備された花を見て、身近な市場池オアシス広場を花で美しくしたいと思ったことから活動を始めました。

広がるアイデア

市場の老人会である「市場OB会」で、まずは何を植えるかの検討から始まりました。環境に強く、刺し木で育つアジサイの木を植えることにし、仲間たちの家から剪定したアジサイの木を集めました。アジサイが育つてくると、今度は四季で違った花が楽しめるようにとアイデアが広がり、スイセ

花を育て元気をもらおう

高齢になってくると、何に生き甲斐を持って生きていくかが大きなテーマになると思います。それが何であってもいいと思います。たまたま私にとっては、花だったということです。花が好きだから自然と続けられます。花を育てることによって体力や元気をもらっているんです。



▲市場池オアシス広場でのアジサイの剪定

種から花を咲かせてみよう

夏から秋に花を咲かせるサルビアやケイトウなどの花を種から育ててみませんか。

鶴野苗圃の実践教室で行われている種まきや苗植えの行程をご紹介します。



緑化の種が芽吹く鶴野苗圃

鶴野苗圃（鶴野3丁目9-1）は、市の緑化活動の拠点として平成8年に開設されました。1年を通して花と緑に関心

のある市民が集まる施設として、緑化団体やボランティアグループなど、市民参加による花と緑のまちづくりにかかせない施設となっています。

緑化推進嘱託員



小竹 俊夫さん

こだわりは「種から」

花と木の実践教室で、私が花の育て方を教えるようになって今年で11年目になります。ここでのこだわりは「種から花

を咲かせる」ことです。花苗を買ってきて育てると、種から育てるとでは、花が咲いた時の実感が全然違います。受講生には、種から花を咲かせたという自信を持ってもらうことを重視しています。

花の変化を感じ取る

花は生き物です。一日一日変化があります。月2回の教室では、花が育つ過程を実感することはできません。そこで教室では、種を家に持ち帰って、育ててもらおうように指導しています。どういう状態で発芽するのか、どうなったら植え替えるのか、花の変化を感じてもらおうことが大切だからです。綺麗に咲いた花の写真を持ってきた生徒の笑顔を見ると、私もうれしくなります。

花好きの輪を広げて

教室の期間は1年間。学んだことを、そこで終わりにしてはもったいないと思っています。私はいつも、卒業生に、「ここで学んだことや、花を咲かせた経験を誰かに話してください」と伝えています。花好きな人の輪が広がることで、家庭や地域で花を育てる人が増え、花いっぱいのもちにつながると信じているからです。

近年では、卒業生が、ボランティアとして地域の花壇で活動している姿を見かけるようになりました。花が好きで出会った受講生が、卒業後も継続して活動している姿にやりがいを感じています。

花苗を育成

花苗を種から育てており、地域の苗圃や市内の花壇、プランターなどに供給しています。年々育てる花苗は増加しており、現在は年間約30種類、3万ポット程度にもなります。

緑化の人材を育成

専門の指導員が常駐しており、緑化指導も行っています。実践により、草花や植木の知

識・技術の指導を行い、緑化に関わる人材を育成する「花と木の実践養成教室（10ペー



▲鶴野苗圃・花とみどりの相談所

ジに掲載）を開催しています。

花とみどりの相談所

指導員が草花、樹木の植栽方法、育成管理、病害虫の駆除方法などの相談に応じる「花とみどりの相談所」が設置されています。

市では、鶴野苗圃の取り組みを地域に広げていくことを目指しています。

● サルビアの育て方



★種まき（4月～6月）



① トレイに専用の土を入れ、水を入れる



② 握った土がだんご状になるまで混ぜる



③ 黒トレイ全体に土を入れ、軽く押さえる



④ 土を水につけ、表面が湿るまで水分を含ませる



⑤ 黒トレイの穴に竹串で種を入れる



⑥ 土をかぶせ、表面が湿るまで水につける

★植え替え（種まきから約1カ月後）



① 黒トレイから苗をヘラで取り出す



② 3号ポットに植え替えた後、水につける

★鉢に植え替え（植え替えから約1カ月半後）

土の表面が乾いていたら、しっかりと水をやる ※土の乾き具合を見て、毎日水やりをする

育て方が同じ花

ニチニチソウ



メランポデイウム



ケイトウ



緑化推進にご協力を

市では、市内の緑化を進めるため、市内団体やボランティアなどが緑化活動に取り組むよう、さまざまな事業を行っています。

「花いっぱい活動」へ種・苗などを助成

緑化推進活動と美しい街づくりの一環としてグループなどが行う「花いっぱい活動」に助成します。多くの市民の目に触れる場所で草花などを植栽していただける団体、グループなどが対象です。



| 対象 | 条件 |
|---|---------------------------------|
| ① 20㎡以上の土地をもつ団体・グループ | 四季を通じて3回以上の草花の植え替えを行う |
| ② 地域の人たちが参加し、花壇やプランターなどで花とみどりの地域づくり活動を行う団体・グループ | 自治会の承認を受け、四季を通じて2回以上の草花の植え替えを行う |

助成内容 次の額の範囲内で、草花の苗、種、球根、堆肥、土、防虫剤などの原材料を市が購入し、現物で支給

①= 10万円 ②= 15万円

申込み 水みどり課へ

誕生記念樹の贈呈

赤ちゃんの誕生を記念し、健やかな成長を願って、春と秋の年2回、誕生記念樹の贈呈を行っています。

また、植樹場所にお困りの人などには、春と秋の年2回、市内の公園などで誕生記念樹（高さ



約3.5m)を皆さんで植樹する「誕生記念植樹祭」に参加していただいています。

対象 生後1年以内の新生児

種類 ウメ、サザンカ、モチノキの苗木（高さ約1m）の中から1種類

※申込書は、出生届出時に市民課の窓口でお渡ししています。



花とみどりの補助金制度

みどり豊かなまちづくりを進めるため、市内の市街化区域内の農地などに、市が指定する景観作物を栽培した人に、種子（苗木）の配布などを行います。

対象 市街化区域内の農地および雑種地（景観地）の面積が200㎡以上の所有者で、面積の1/2（100㎡）以上の作付けをし、作付け期間外も農地を良好な状態に保つ人

条件 景観作物（コスモス、ヒマワリ、マリーゴールド、烏飼なすのいずれか）を年1回以上作付けすること

補助内容

| 景観作物 | 宅地化農地・雑種地 | 生産緑地指定農地 |
|-------------------|-----------|----------|
| コスモス、ヒマワリ、マリーゴールド | 136円/㎡+種子 | 種子 |
| 烏飼なす | 420円/㎡+苗木 | 苗木 |

※補助金は限度額あり。補助金の交付は、圃場の確認などを実施後の年度末になります。

申込み 6月30日(金)までに、市役所5階・産業振興課農政係へ

花と木の実践養成教室

月2回程度午後1時から、鶴野苗圃（鶴野3丁目9-8）で「花と木の実践養成教室」を実施しています。4月から始まっていますが、まだ受講生を募集中です。

種まきから花苗の育て方、花壇の管理方法、寄せ植えなどを実践で学ぶ教室です。興味のある人は、水みどり課へお問い合わせください。



29年度の日程

| 日程 | 内容 |
|--------------|---|
| 5/9(火)・23(火) | ・朝顔について・草花の移植 ・小菊の種蒔き など |
| 6/6(火)・20(火) | ・花菖蒲について・花壇づくり ・寄せ植え など |
| 7/4(火)・20(木) | ・踊りハボタンを作ろう ・あじさいについて ・朝顔の仕上げ など |
| 8/8(火)・29(火) | ・秋蒔き草花について ・踊りハボタン移植 ・秋バラ剪定、肥料 など |
| 9/5(火)・21(木) | ・花菖蒲定植 ・シャコバサボテン秋の手入れ ・シクラメンについて など |

| 日程 | 内容 |
|----------------|--|
| 10/12(木)・24(火) | ・ハンギングバスケットづくり ・秋蒔き草花定植 ・秋植球根について など |
| 11/7(火)・21(火) | ・花壇管理 ・モミジ、松の種蒔き ・踊りハボタン寄せ植え など |
| 12/5(火)・19(火) | ・松竹梅寄せ植え・コケ玉づくり |
| 1/23(火) | ・バラ冬の剪定・植替、肥料 |
| 2/6(火)・20(火) | ・松竹梅の植替・バラの接ぎ木 ・バラの鉢植について など |
| 3/6(火)・20(火) | ・春の草花について |

※いずれも午後1時～3時

花と木の実践養成教室卒業生の声



須知 嘉子さん

マーガレットの会

きっかけは友人の声かけ

市が、鶴野の苗圃で「花と木の実践養成教室」を行っていることを知ったのは、今から3年前です。「種から花が育つまでを丁寧に教えてくれるよ」という友人の声かけが、教室を受講するきっかけでした。

教室では、市の緑化推進嘱託員の指導のもと、月に2回、約2時間、1年を通して土の作り方から花の育て方、管理の仕方までを学びました。

冷蔵庫で種を冷やす

昔から花が好きで、花苗を買ってきては家で育てていた私にとって、種から育て方を学ぶこの教室は新鮮でした。特に関心したのは、冷蔵庫で種を冷やす方法です。種に人工的な冬を感じさせると、撒く際に、種が春が来たこと認識し、



▲実践教室での植え替え実習

芽を出そうとするのです。専門的な知識を実践で学ぶことができました。

習ったことを実践

教室卒業後、一緒に学んだ友達8人と「マーガレットの会」を結成しました。市役所前の花壇の管理を1年間行った後、現在は香露園交差点のパークタワー側にある花壇を管理しています。「習ったことを実践で生かしてみませんか」という市の声かけで始めた花を育てる活動は、今では私のライフワークとなっています。種から育てた苗の成長が気になって、自然と花壇に向かいます。花が奇麗に咲いた時の喜びは格別です。